

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-13  
補助事業名 平成24年度 ISO事務機械国内委員会国際標準化 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

ICカードは現代社会ですでに不可欠なデバイスであるが、技術の向上に伴って新規な使用方法が提案されており、それにともない、新たな標準化を進める必要がある。複写機、ファックス、プリンタ、プロジェクタ等の選択にあたってその性能比較や操作性などが客観的に評価できるよう標準化を進めているが、まだすべての標準が整っていないため、エンドユーザの利便性が欠けている。またこれらの操作性についても標準化を進める事で共通性を持たせ、ユーザの利便性をあげられる。これらの課題に対して国際標準化を推進することで複数の機器間で性能の比較や操作性、互換性などに差がない環境を構築していくことを目的とする。

#### (2) 実施内容

##### ① ISO/IEC JTC 1/SC 17, 28, 35(一部)の国際標準の開発

カードと個人識別(SC17)の分野で14件、オフィス機器(SC28)の分野で9件、ユーザインタフェース(SC35)の分野で7件の合計30件の国際標準を、49回の国際会議に参加し発行するに至った。また合わせて74件の標準化案件の審議を、毎月1回程度の委員会と傘下のワーキンググループで実施した。

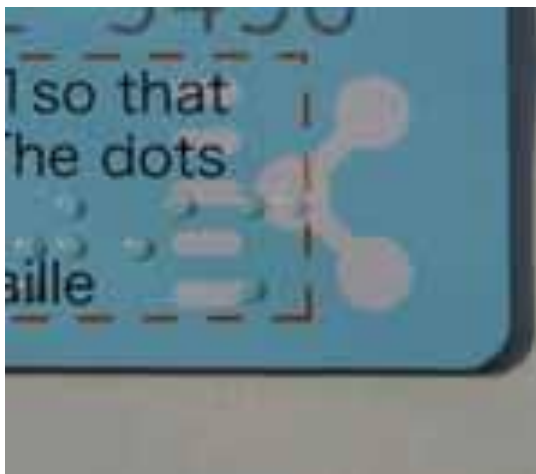


国際会議風景

### 2 予想される事業実施効果

SC17は、各種カードの要素技術からクレジット・IC旅券・運転免許証等の利用システムまでを含む国際互換性に関する標準化と登録管理を担当している。

本年度も各ワーキンググループ等の活動において、実装の実現性・後方互換を含めた互換性・拡張性・全体的整合性等の観点からの詳細なレビュー及び考察と



実験データに基づき日本意見の反映を図るとともに、国内外関係機関と連携して国際標準化の推進に努め、要素技術及びIC旅券・運転免許証等に関する標準化活動を主導している。その結果として、わが国の国内産業である各種カードの市場拡大に大きく貢献している。

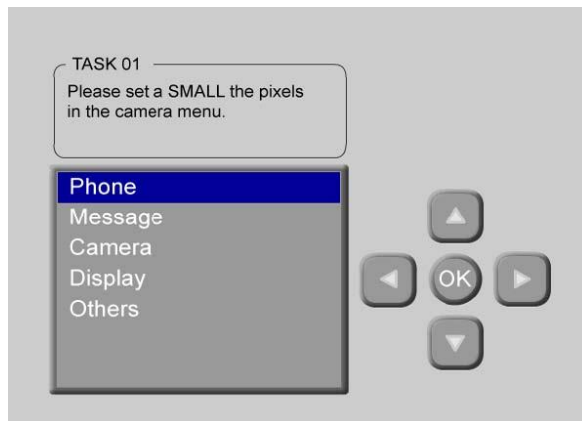
視覚障がい者のためのIC  
カード凸記号の標準化

SC28は日本のメーカーが世界市場の中で多数派を占めており、日本が国際幹事国業務、議長国を引き受け積極的に活動している。現在、ワーキンググループは5つ（戦略検討、消耗品、生産性、画質評価、オフィスカラー）あり、日本はいずれのワーキンググループにも参加している。主な活動分野は性能の測定・評価・標記方法であり、国際的な産業の発展とユーザ利益のために日本の貢献するところは大きく、その結果日本の競争力を強化してきている。



インクジェットプリンタのインクカートリッジが  
何枚プリントできるかを測定するためのテストチャート

SC35では、幹事国および議長国はフランスが務めているものの、7つのワーキンググループのうち日本は2つのWGのコンビーナ(主査)を務めている。アクセシビリティに関する関連規格として日本提案が今年度国際規格として出版された。来年度以降は、やはり日本が主体となって進めている4方向キーによるナビゲーション及びボイスコマンドの規格化を進める。また、ジェスチャーインターフェイスについても、韓国提案のプロジェクトであるがコエディタを務めるなど積極的に関与、ユーザ利便性と産業界に大きく貢献している。



検討中の4方向キーの操作例

3 本事業により作成した印刷物等

特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

(イッパンシャダンハウジンビジネスカイ・ジョウホウシステムサン  
ギョウキョウカイ)

住所： 〒105-0003 (半角)

東京都港区西新橋3-25-33

NP御成門ビル4階

代表者： 会長 内田 恒二 (ウチダ ツネジ)

担当部署： 標準部 (ヒョウジュンブ)

担当者名： 部長 出井 克人 (デイ カツヒト)

電話番号： 03-5472-1101 (半角)

F A X : 03-5472-2511 (半角)

E-mail : [kdei@jbmia.or.jp](mailto:kdei@jbmia.or.jp)

U R L : <http://www.jbmia.or.jp>